

諸先生選句

現代俳句協会副会長 倉橋 羊 村 選

- ◎虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- 国旗掲ぐる家一つなし文化の日 平井 与史
- 太刀魚は竹光の照も始まる 野上 貞勝
- 汐入や鱈の名に未だ遠き群れ 佐渡谷秀一
- 赤い羽根元気なお礼に笑みあふれ 青木美紀子
- 秋深し己が余生を診る老医 平井 与史
- 一病も話の種や夜長し 瀬戸 溪水
- 瀨峡の奇岩のあたり紅葉りぬ 藤本 友子

圓主宰 石河 義 介 選

- ◎鹿の声水車は水を歩かせて 野上 貞勝
- 国旗掲ぐる家一つなし文化の日 平井 与史
- 虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- 鴫高音自白調書の覆る 増田 守
- 寒露なり風呂の温度を二度上げる 野上 貞勝
- 一病も話の種や夜長し 瀬戸 溪水
- 草の花寝釈迦のやうにホームレス 増田 守
- つくづくと鳴き落蟬となりにつけり 小川名みさ

あかざ主宰 飯 村 寿美子 選

- ◎小春日や真綿ちぎりて天空に 桜井 幸枝
- 鉢物を移す軍手やそぞろ寒 瀬戸 溪水
- 鹿の声水車は水を歩かせて 野上 貞勝
- 虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- 一病も話の種や夜長し 瀬戸 溪水
- 大根干す岬の空を全開に 小川名梅乃
- 秋苑や尖りしもの見あたらす 佐渡谷秀一
- 瀨峡の奇岩のあたり紅葉りぬ 藤本 友子

古志 小 寺 敬 子 選

- ◎虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- 花終えてすぐもみずれる夏椿 安中 忠夫
- ほしもののからり乾きぬ鴫高音 岩野ヤエ子
- 太刀魚は竹光の照も始まる 野上 貞勝
- 鴫高音自白調書の覆る 増田 守
- 一病も話の種や夜長し 瀬戸 溪水
- 大根干す岬の空を全開に 小川名梅乃
- つくづくと鳴き落蟬となりにつけり 小川名みさ

饗 焔 北 登 猛 選

- ◎虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- ほしもののからり乾きぬ鴫高音 岩野ヤエ子
- 古民家の隅の馬小屋ちろろ鳴く 藤本 友子
- 雨なれど今を盛りと虫の夜 岩崎 眞三
- 黄の花の惑いなく咲く秋日和 桜井 幸枝
- 大根干す岬の空を全開に 小川名梅乃
- つくづくと鳴き落蟬となりにつけり 小川名みさ
- 石ひとつ水面にゆれる里の秋 柳沢 正子

末黒野主宰 小川 玉 泉 選

- ◎虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- 国旗掲ぐる家一つなし文化の日 平井 与史
- 鉢物を移す軍手やそぞろ寒 瀬戸 溪水
- 朝顔の名残りの青や色冴ゆる 桜井 幸枝
- ほしもののからり乾きぬ鴫高音 岩野ヤエ子
- 古民家の隅の馬小屋ちろろ鳴く 藤本 友子
- 雨なれど今を盛りと虫の夜 岩崎 眞三
- 一病も話の種や夜長し 瀬戸 溪水

頂 点 鶴 巻 ちしろ 選

- ◎秋の風いつも何か追いかけて 小川名みさ
- ほしもののからり乾きぬ鴫高音 岩野ヤエ子
- 同席の人に出会ひし月見かな 増田 守
- 虫時雨闇やわらかくなりにつけり 小川名みさ
- 鴫高音自白調書の覆る 増田 守
- 大根干す岬の空を全開に 小川名梅乃
- 草の花寝釈迦のやうにホームレス 増田 守
- つくづくと鳴き落蟬となりにつけり 小川名みさ